

# 令和元年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

スポーツ推進課

## 1 施設の概要等

施設名	広島県総合グラウンド(愛称:コカ・コーラボトラーズジャパン広島総合グラウンド ~R2.3.31)		
所在地	広島県広島市西区観音新町二丁目 11 番 124 号		
設置目的	スポーツの普及発展と県民の体位の向上を図る		
施設・設備	メインスタジアム, 補助競技場, 野球場, ラグビー場, 運動場 等		
指定管理者	4期目	H28. 4. 1~R3. 3. 31	セイカスポーツセンター・鹿島建物・西尾園芸共同企業体
	3期目	H23. 4. 1~H28. 3. 31	ミズノ・広島県教育事業団グループ共同企業体
	2期目	H20. 4. 1~H23. 3. 31	財団法人広島県教育事業団
	1期目	H17. 4. 1~H20. 3. 31	ポラーノグループ特定共同企業体

## 2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	4期	R1	400,000人	370,518人	△22,241人
H30		398,000人	392,759人	2,182人	△5,241人(98.7%)
H29		395,000人	390,577人	37,472人	△4,423人(98.9%)
H28		392,000人	353,105人	△24,250人	△38,895人(90.1%)
3期平均	H23~H27	315,000人	377,355人	75,525人	62,355人(119.8%)
2期平均	H20~H22	291,000人	301,830人	31,412人	10,830人(103.7%)
1期平均	H17~H19	292,000人	270,418人	26,922人	△21,582人(92.6%)
	H16(導入前)	—	243,496人	—	—
増減理由	<p>○新型コロナウイルス感染症の流行による利用者の自粛(専用利用 37,477名減)と屋内施設(2/28よりスポーツ教室・3/7よりトレーニング室・会議室)利用不可などによる減。(スポーツ教室休講 127名減)</p> <p>○補助競技場の公認4種更新改修工事に伴う利用不可による減。(利用不可期間:令和2年1月6日~3月16日(※内5日間のみ使用))</p>				

## 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
		お客様の声BOXの設置
	施設利用アンケート実施	団体 16件・個人利用 29件
	自主事業アンケート実施	スポーツ教室及び体験受講者・196件
	【主な意見】	【その対応状況】
	トレーニング室の1.25kgのラバープレートが無くなったりまた出てきたりがよくある。	新たに購入し、受付において貸出の管理をすることとした。
	練習用サッカーゴールのバンドの粘着力が弱くなり、外れやすくなっている。	新たにサッカーゴールバンドを購入し、環境整備を図った。

#### 4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次報告書
	日報（必要随時）	○	修繕完了報告書，その他（提案，要望及び苦情等）
管理運営会議 （12回・広島県庁）		【特記事項等】 ・施設利用状況や不具合修繕状況，取組事項などについて，報告と提案，意見交換協議を行った。	
現地調査 （4月，5月，6月，9月，12月，1月，3月に実施）		【指定管理者の意見】 ・引き続き報告と意見交換協議を実施。  【県の対応】 ・労働条件チェック（平成31年4月） ・施設視察（令和元年5月） ・陸上競技場公認打合せ（令和元年6月） ・メキシコパラリンピック委員会視察（令和元年6月） ・陸上競技場公認備品確認（令和元年9月） ・補助競技場4種公認備品確認（令和元年12月） ・令和2年度 専用利用調整会議及び意見交換協議（令和2年1月） ・補助競技場4種公認検定確認（令和2年3月）	

#### 5 県委託料の状況

（単位：千円）

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
県委託料 （決算額）	4期	R1	87,015	496	料金 収入 （決算額）	4期	R1	18,150	△820
		H30	86,519	8			H30	18,970	△631
		H29	86,511	△989			H29	19,601	2,288
		H28	87,500	7,416			H28	17,313	100
	3期平均 H23～H27		80,084	2,857		3期平均 H23～H27		17,213	1,810
	2期平均 H20～H22		77,227	△19,397		2期平均 H20～H22		15,403	△1,323
	1期平均 H18～H19		96,624	△62,146		1期平均 H18～H19		16,726	△529
	H17（導入前）		158,770	—		H17（導入前）		17,255	—

## 6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R1 決算額	H30 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収 入	県委託料	87,015	86,519	496	消費税増税に伴う増
		料金収入	18,150	18,970	△820	利用料金制（※1） 新型コロナウイルス感染症の影響による減
		その他収入	2,888	3,218	△330	工事等に伴う営業補償の減
		計(A)	108,053	108,707	△654	
	支 出	人件費	31,800	31,200	600	人件費見直しによる増
		光熱水費	10,800	13,249	△2,449	メインスタジアム漏水改善による水道代減
		設備等保守点検費	19,868	19,716	152	維持管理委託料見直しによる増
		清掃・警備費等	43,953	43,453	500	維持管理委託料見直しによる増
		施設維持修繕費	1,975	2,187	△212	自主作業による減
		事務局費	1,876	2,070	△194	経費節減取組による事務費の減
		その他	2,473	2,646	△173	諸経費の減
	計(B)	112,745	114,521	△1,776		
		収支①(A-B)	△4,692	△5,814	1,122	
自主事業 (※2)	収 入(C)	6,671	6,120	551	スポーツ教室及びスポーツイベント参加者の増	
	支 出(D)	3,042	2,015	1,027		
	収支②(C-D)	3,629	4,105	△476		
合計収支(①+②)		△1,063	△1,709	646		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	<p>条例及び管理規則, 仕様書に則り, 利用申請や料金収受, 許可証発行等を適正に実施した。また, 行事打ち合わせでより安全に運営しやすいように打合表を更新して, 設置目的に沿った利用受付を行った。</p>	<p>施設の設置目的に沿った管理運営及び利用促進が行われている。</p> <p>令和元年度の利用者数は, 計画を達成する見込みで推移していたが, 新型コロナウイルス感染症の影響による大幅な利用者数の減により, 目標値を達成することはできなかった。</p>
	○業務の実施による, 県民サービスの向上	<p>自主事業のスポーツ教室使用の会議室をタイルカーペット設置により, より良く利用しやすい環境づくりに努めた。低学年から高学年までを対象としたサッカー大会やラグビー大会を実施したほか, 指定管理者のノウハウを活かした成人スポーツ教室を実施し, 健康づくりと体力向上に寄与した。また, 町内会の祭りや町内総会に参加して, 交流の輪を広めた。</p> <p>県民が参加できる夏祭り事業「ひろスタサマーフェスティバル」を2年ぶりに開催し, 町内会と連携し地域貢献に努めた。</p>	<p>アンケートやモニタリングにより利用者のニーズを把握し, スポーツ教室等の環境整備などに取り組んでいる。</p> <p>また, 近隣地域と連携したイベントの開催等を行い, 地域の活性化に寄与している。</p>
	○業務の実施による, 施設の利用促進	<p>補助競技場と運動場の利用促進を図るため, 施設無料開放日(6月, 9月)を実施した。新たにランニング講座を実施して, お客様同士の仲間づくりや走力アップに努めた。(自主事業)</p>	<p>施設の無料開放や新たなスポーツ教室の開設などにより利用者の増加につながっている。</p>
	○施設の維持管理	<p>メインスタジアム階段ノンスリップ剥がれ改修や野球場階段タイル外れ改修し, 利用に支障をきたさないよう対応した。積極的な自主修繕を実施し, トレーニング室のベンチ改修や野球場ラバー修理と各種塗装作業も実施した。また, 清掃巡回を強化し施設の美観向上に努めた。</p> <p>各施設の使用不可トイレのフラッシュバルブをすべて交換して使用できるようにした。県総合グラウンド内の外灯安定器交換やバリカー修繕により, 利用者の安全管理に努めた。</p> <p>緑地帯の害虫(チャドクガ)駆除を適宜実施した。来年度に樹木名札作成のため総合グラウンド内の樹木数をすべて確認して一覧表にした。前年より土壌環境を向上させ芝生の品質管理維持に努めた。</p>	<p>利用者からの要求や劣化状況により, 優先度をつけ, 迅速に修繕等の対応をしている。</p> <p>積極的な自主修繕を行い, 利用環境の改善や安全管理に努めている。</p> <p>芝の維持管理については, 計画を上回る回数の業務を実施している。</p>

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	仕様書に則り, 適正な体制を取ることができた。	職員の配置, 緊急時の連絡体制整備は仕様書及び事業計画書に沿って適切になされている。
	○効率的な業務運営	スムーズな利用受付と事前打ち合わせにより, 利用者サービスの向上に努めた。 所内研修では, 消防訓練や新人研修期間を2か月設けて, 安全管理や施設管理のレベルアップに努めた。	利用者の立場に立った丁寧な対応を行っている。 また, 各種研修の実施等により利用者の安全確保体制の強化を図るなど, 利用者サービスの向上に努めている。
	○収支の適正	全体調整を行いながら適正な予算管理に努めた。	適正な予算管理に努めている。
総括		自主事業では, 指定管理者のノウハウを活かし, 県民のニーズに沿った健康づくりスポーツ教室や各種スポーツ大会, イベント事業等を展開, 実業団との連携により, 各種スポーツの普及と振興, 健康づくりに努めた。 また, 新型コロナウイルス感染予防対策に最善をつくして, 県との連携を図った。 引き続き, 県との報告や相談等を行い, 共通理解と関係性を構築し, 連携を図っていきたい。	指定管理者のノウハウを活かした健康増進と体力向上に寄与するスポーツ教室やイベントを多数実施している。 また, 地域への広報活動を活発に行い, 利用者数の増加につなげている。 施設整備については, 施設の劣化状況を把握し, 優先度や利用者のニーズに応じ修繕を行っている。

## 8 今後の方向性 (課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○不具合箇所等の修繕対応</li> <li>○事業計画に沿った提案業務の遂行</li> <li>○自主事業展開による利用促進とスポーツ振興及び普及への貢献, 地域との連携等</li> <li>○施設内での環境整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業計画の着実な実施</li> <li>○目標達成に向けた利用者増加への取組</li> </ul>
中期的な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○設備機器の不具合及び改修等の報告及び提案, 協議の実施</li> <li>○経費縮減取組対応と提案等</li> <li>○芝管理向上の取組と提案等</li> </ul>	施設設備の計画的な修繕